

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号

179

事業名	更生保護女性会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	市民課		款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5023			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	諸費・14目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		保護司法		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる			

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ市更生保護女性会			構成人数(人) 205	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 淡路保護区南あわじ市保護司会が行う事業に協力し、会員相互の連絡と親睦を図り、明るい社会の建設に貢献する。				
	実施内容	1. 更生保護事業に対する協力と援助 2. 青少年の保護育成、不良化防止 3. 更生保護、思想普及の宣伝並びに情報交換 4. 機関紙発行				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 更生保護女性会は、女性保護司を中心に構成されたボランティア団体で、保護司の活動を支援し、非行防止・更生活動・社会を明るくする運動に取り組み、更生保護に努めている。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (市民課) <input type="checkbox"/> 旧町単位 ( ) <input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )	
	補助金算出根拠	事業計画に基づき、対象となる事業について補助する。				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧三原郡町村会より変更無く引き継ぎ、現状に至る。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)		100	100	100
	更生保護女性会補助金		100	100	100
	事務局事務費(市が事務局の場合)		0	0	0
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	0	100	100	100
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)				
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	0	100	100	100
「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.0	0.5	0.5	0.5	
受益者人数(53,374)一人当り経費(千円)	0.0	0.0	0.0	0.0	
経費に関する 補足説明					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 平成18年度の決算資料によると、会費=306,000円、事業収入=596,300円、市補助金=100,000円で、非常に健全なボランティア団体である。そして、その活動は地域貢献度が顕著で、今後とも更生保護活動等に期待できる。	自己評価 (5点評価)
		5
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 更生保護制度のネットワークは、保護司会・更生保護法人・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主等のボランティアによって構成されている。本会の、犯罪者の再犯防止と近年多発する少年犯罪の防止活動は、地域の安全な生活を確保するためには最も重要である。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 最低限の補助金の中で組織を運営し、活動実績及び成果において、その効果は広範囲であり、社会的貢献度においても優れている。	
	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果      必要性</p> </div>	

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 交付方法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 交付方法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>当分の間は、現状維持を確保し、事業内容を検討しながら予算の充実を検討する。</p> <p>本会の、犯罪者の再犯防止と近年多発する少年犯罪の防止活動は、地域の安全な生活を確保するためには最も重要である。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>近年の犯罪傾向として、犯罪者の低年齢化及び再犯率の増加にある。よって、更生保護及び青少年の非行防止に積極的に、且つ継続的に取り組む必要がある。また、法務省が主唱する「犯罪予防活動～社会を明るくする運動」等の事業に支障のないように対応しなければならない。</p>	